

第 40 回 J I A 東海支部設計競技・応募要項

日本建築家協会東海支部が主催する「建築設計競技」は、最も伝統ある事業のひとつとして 1984 年に第 1 回が開催され、2024 年で 40 回目を数えます。

今日、社会はあらゆる局面における情報化の進展に伴い加速的に変化し続けています。東日本大震災や能登半島地震など毎年のように起こる大きな震災に加え、世界的なパンデミックとなった新型コロナウイルス感染症の猛威が及ぼした影響、また物価高騰や戦争など、人々への負荷は過大で、社会に対する意識・行動に変化が求められています。また、これまでも増して、格差や貧困問題等の広がり生きづらい社会となる可能性もあり、「自分自身の生き方」について真剣に向き合うことも必要な時代となりました。

この設計競技は、このような複雑かつ不安定な社会において、住まう空間の多様なあり方と可能性を問うものです。

【第 40 回 課題】

しま
終い | 住まい

建築や都市においては、例えば 200 年住宅を目指す長期優良住宅制度のように、長生きする、成長する為の方策は様々に考えられてきましたが、幸せな死の迎え方や、その先に残されるものを提示する事は中々できていないように思います。消滅可能性都市に言及した増田レポートから 10 年が経ちましたが、消滅と聞いてポジティブなイメージを抱くのは確かに難しいかもしれません。あるいは、創造するという行為に対して、終わる、費えることは相対するネガティブな概念として避けられてきたとも言えます。

一方で、最後だからこそ全力を注げたり、それを終えた時に見える景色があったり、次の目標に出会えるなど、終わりがあることで見つかる希望だってありそうです。

そこで、今回は終わり=終い(しまい)に着目したいと思います。
何の「終い」なのかは時間的にも空間的にもいろいろな解釈があり得ます。
みなさんの考える「終い」と、
そこから見える/そこから始まる/そこへ向かう住まいのあり方を教えてください。
枠にとらわれない、自由な可能性を募集します。

文：水谷 夏樹（審査員長）

【募集要項】

1. 表現方法・提出物

①プレゼンシート

用紙の大きさはA2判（420mm×594mm）とする。

着色など、表現上の制約はない。

各自の提案内容に沿って自由に提案すること。

※計画地、計画面積、家族形態、生活様式等の制限はない。

また独立住宅、集合住宅、その他の居住形態の制限もない。

- ・用紙は縦使い、または横使いとし、1枚（片面）にまとめること。
- ・パネルなど巻けないものは不可とする。また模型などは受付ない。
- ・氏名や暗号等目印となるものは記入しないこと。

②プレゼンシートのデータ：PDF形式

- ・データの保存名称には、作品名を記すこと。
- ・データはUSBメモリで提出のこと。
- ・USB本体に代表者氏名を明記すること。

③申込用紙：EXCEL形式のデータ+印刷した申込用紙

申込用紙はJIA 東海支部設計競技 Web サイトよりダウンロード可能。

URL <http://www.jia-tokai.org/competition/top.htm>

- ・データの保存名称には、作品名を記すこと。
- ・データはプレゼンシートのデータと併せてUSBメモリで提出のこと。
- ・印刷した申込用紙はプレゼンシートに貼り付けないこと。

2. 応募資格

応募資格についての制限はない。

3. 応募方法

ダウンロードした申込用紙に必要な事項を記入の上、印刷した申込用紙とそのデータ（EXCEL形式）、プレゼンシートとそのデータ（PDF形式）を設計競技事務局に提出のこと。
プレゼンシートは、折ったり丸めたりしないこと。

4. 応募締切

2024年10月15日（金）当日消印有効

5. 提出先

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄四丁目3の26 昭和ビル5階

（公社）日本建築家協会東海支部 設計競技事務局



<http://www.jia-tokai.org/aichi/>

6. 審査員（順不同・敬称略）

審査員長	水谷夏樹（水谷夏樹建築設計事務所 / JIA会員）
ゲスト審査員	畝森泰行（畝森泰行建築設計事務所 / JIA会員）
審査員	佐藤布武（名城大学准教授 / 一般社団法人生活民芸舎）
	澤 秀俊（澤秀俊設計環境 / SAWADEE / JIA会員）
	三谷裕樹（ナノメートルアーキテクチャー）
	諸江一紀（諸江一紀建築設計事務所 / 愛知淑徳大学教授）

7. 審査・入賞者発表

① 審査方法

1次審査会で、入賞者（金賞候補1名、銀賞候補2名、銅賞候補3名、奨励賞 若干名、ゲスト審査員特別賞 若干名）を選出。

上位6名（金賞候補1名、銀賞候補2名、銅賞候補3名）が2次公開審査会に進み、奨励賞 若干名、ゲスト審査員特別賞 若干名は表彰式のみ参加。

2次公開審査会のプレゼンはPDFデータ、またはパワーポイント等で行うこと。

②1次審査会

日時：2024年10月27日（日）

会場：TOTO テクニカルセンター名古屋（大名古屋ビルヂング 12階内）

1次審査通過者には11月上旬に通知予定

③2次公開審査会・表彰式・記念講演会

日時：2024年11月24日（日）

会場：TOTO テクニカルセンター名古屋（大名古屋ビルヂング 12階内）

※詳細については11月上旬にWebサイトにて公表予定

8. 表彰

①表彰

・金賞	1点	賞状、商品券 10万円、記念品
・銀賞	2点	賞状、商品券 5万円、記念品
・銅賞	3点	賞状、商品券 3万円、記念品
・奨励賞	若干名	賞状、商品券 1万円、記念品
・ゲスト審査員特別賞	若干名	賞状、商品券 1万円、記念品

②発表

1次審査の結果については、主催者より直接対象者へ連絡する。

最終結果については、12月中旬頃にJIA 東海支部ホームページにて発表予定。

結果の講評などは、JIA 会誌（ARCHITECT）にて公開予定。

9. 著作権

本設計競技の応募作品の著作権は応募者に帰属するが、発表する権利は主催者が保有するものとする。(主催団体がこの事業の趣旨にもとづいて、応募作品を会誌・ホームページに掲載、図書出版または展示のために用いる場合、入賞者はこの使用を無償で認めるものとする。)

10. その他

①応募に関する質疑応答は行わない。

②入賞作品及び最終選考に残った作品以外の作品で返却希望者には、審査結果発表後 2 週間以内であれば返却する。ただし、設計競技事務局 (JIA 東海支部事務局内) での直接受け取りに限る。(郵送での返却は行わない。)

③過去入賞作品の公開

設計競技 Web 上で 第 21 回～第 39 回までの入賞作品を公開中

URL <http://www.jia-tokai.org/competition/archives.htm>

④「2 次公開審査会・表彰式・記念講演会」のご案内

日時：2024 年 11 月 24 日 (日)

会場：TOTO テクニカルセンター名古屋 (大名古屋ビルヂング 12 階内)

当日のタイムスケジュール：未定 ※下記参照

参考) 過去の設計競技タイムスケジュール例

作品展示	12 : 00～17 : 30
プレゼン (6 名)	12 : 30～14 : 10
(休憩)	14 : 10～14 : 20
公開審査	14 : 20～15 : 00
学生賞・ゲスト審査員賞講評	15 : 00～15 : 40
表彰式	15 : 40～15 : 50
(休憩)	15 : 50～16 : 00
記念講演会	16 : 00～17 : 00



⑤講師：畝森泰行（畝森泰行建築設計事務所 / JIA 会員）

<プロフィール>

1979年 岡山県生まれ
2005年 横浜国立大学大学院修士課程 修了
2002～09年 西沢大良建築設計事務所 勤務
2009年 畝森泰行建築設計事務所 設立

<主な受賞歴>

第28回新建築賞（吉岡賞）、BCS賞、日本建築学会作品選奨
グッドデザイン金賞（経済産業大臣賞）、JIA優秀建築賞など

⑥問い合わせ先

（公社）日本建築家協会 東海支部 設計競技事務局
〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄四丁目3の2 6 昭和ビル5階
URL <http://www.jia-tokai.org/competition/top.htm>
E-mail : jia.tokai.sekkei.kyogi@gmail.com

※問い合わせはメールのみ対応

主催：公益社団法人日本建築家協会東海支部

2024年6月27日 作成